

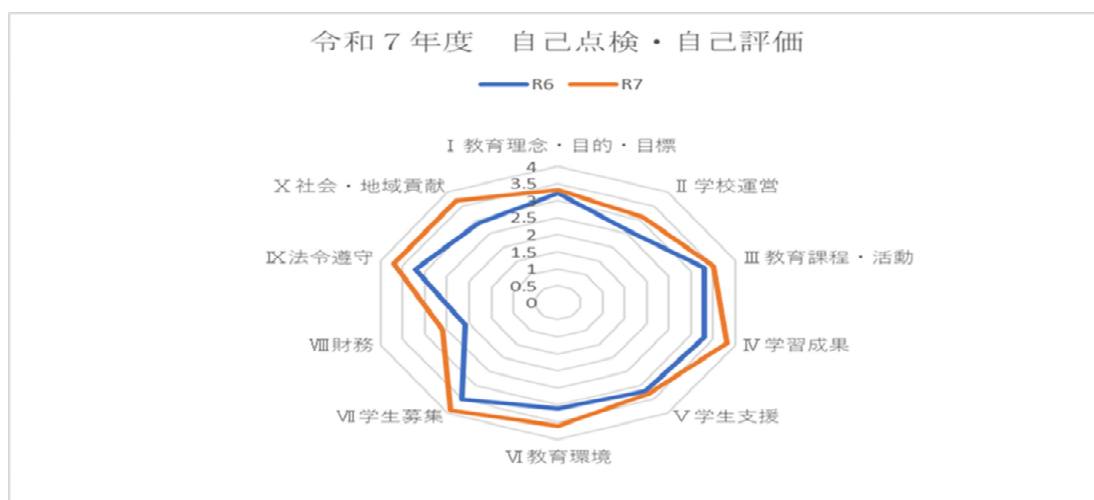
# 相生市看護専門学校 自己点検・自己評価結果（令和7年度）

## 1. 本校の取り組み

本校では、教育の質の向上と学校運営の透明性を確保するため、「自己点検・自己評価」を継続的に実施しております。この取り組みの目的は、教育水準の維持・向上をはかるとともに、創意工夫に満ちた教育の実現を目指し、地域社会に対する説明責任を果たすことにあります。今後も、相生市に根ざした看護師養成校として、地域の皆さまから信頼される教育機関を目指し、より良い看護教育の提供に努めてまいります。

## 2. 自己点検・自己評価結果

評価内容は「看護師等養成所の自己点検・自己評価指針」を参考に本校では、I～Xのカテゴリーとその評価項目（52項目）を、4段階評価（4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切）とし評価点をつけています。



評価項目	評価概要	令和6年度	令和7年度
I. 教育理念、目的、目標	教育理念・目標・ポリシーを関係者に周知、到達目標を分析し教育に反映しているか。社会の変化に応じて方針を見直しをしているか。	3.2	3.2
II. 学校運営	職員は役割を遂行し、業務は適宜見直し情報化により業務効率化を推進しているか。教育情報は適切に公開できているか。	2.6	3.1
III. 教育課程・教育活動	授業評価をもとに改善を実施できているか。カリキュラムは定期的に見直し、ガイダンス・シラバスを学生に周知できているか。成績評価・単位認定の基準は明確にしているか。教員は研修・学会に参加し自己研鑽しているか。	3.3	3.5
IV. 学習成果	単位取得支援（個別指導や安全対策を整備）を実施できているか。就職率100%、国家試験合格率は全国平均以上になるように取り組んでいるか。	3.3	3.4
V. 学生支援	進路・相談・経済・健康面の支援体制あり、課外活動や保護者連携にも努めているか。卒業生との交流体制があり社会人・中高連携の体制を整えているか。	3.2	3.2
VI. 教育環境	施設・実習・防災体制は教育に必要な環境として整備・運用されているか。	3.1	3.5
VII. 学生募集	学生募集活動は、説明会・情報提供・進路支援・実績公開・志願動向の評価を適切に実施しているか。	3.5	3.8
VIII. 財政	財政は中長期的に安定するように、予算管理・歳出削減・教材整備が計画的に行われるように努めているか。	2.1	2.6
IX. 法令等の遵守	法令遵守・個人情報保護・自己評価・外部評価を重視した適正な学校運営に努めているか。	3.2	3.6
X. 社会貢献・地域貢献	社会・地域貢献として、学生のボランティア支援や公開講座等を積極的に参画しているか。	2.9	3.7

### 3. 評価概要

#### I. 教育理念、目的、目標 ( 3.2 )

本校では、教育理念や3つのポリシーを新入生ガイダンスで丁寧に説明し、学生への浸透を図っています。また、Z世代の学生像やニーズについては、教務会での実習・学年状況の共有を通じて継続的に把握しています。令和7年度は、教務会やループリック会議など小規模な会議を活用し、教員が意見を出しやすい環境づくりを進めました。さらに、学校案内やカリキュラムガイダンス、実習要領、Instagramなどの情報発信ツールの見直しを行い、より分かりやすく魅力的な発信を目指しています。

#### II. 学校運営 ( 3.1 )

本校では、教職員の業務負担を見直し、教育に専念できる環境づくりを進めています。令和7年度より担任制を担当制へ移行し、学年運営をタスクごとに分担することで教員の負担を軽減するとともに、教員全員で学生一人ひとりを育てる意識の醸成を図っています。成績管理の一部は事務が担う体制とし、業務の効率化を推進しています。

働き方改革にも力を入れ、昼休憩の確保、時間外連絡の抑制、保護者対応時間の明確化、年休取得の推奨など、多様で健全な働き方を支援しています。教育活動や働き方に関する相談は随時面接や会議で受け付け、教員が安心して働ける体制を整えています。

また、ICT環境の老朽化に対応し、令和8年度の新校舎設立に合わせてWi-FiやPC設備の刷新を予定しています。広報面では、4月より休止していたInstagramを教員運用のもと再開し、保護者にも運用方針をお知らせしました。学校生活の様子や教科外活動も積極的に発信し、学校の魅力を広く伝えています。

#### III. 教育課程・教育活動 ( 3.5 )

本校では、学生による講義評価を通じてカリキュラムの運用と改善を図っています。教員の教育力向上にも取り組み、令和7年度は計画通りに研修・学会参加を実施しました。専任教員の柔軟な教育力を育むため「チーム教育」を導入し、複数教員による実習担当制とローテーション研修を実施。これにより、指導の偏りの是正と領域見直しが進みました。臨地実習評価ではループリックを新たに作成し、令和8年度より学生・指導者へ提示していく予定です。また、令和8年度より看護学校インターンシップの受け入れを計画しています。

#### IV. 学習効果 ( 3.4 )

学生の学力低下に対応するため、令和7年度は1年次より模試や基礎学力試験を導入し、早期から国家試験対策に取り組みました。令和7年度は、保護者への模試成績通知を通じて学習支援を強化しています。就職状況は、100%であり、卒業後の離職状況把握は今後の課題です。キャリア教育として、国家試験後に技術演習を新たに導入実施し、卒業後の実践力向上を図っています。

#### V. 学生支援 ( 3.2 )

本校では、学生一人ひとりの進路や学習を支えるため、就職支援・健康管理・心理的支援・保護者連携など多面的な支援体制を整えています。令和7年度は、2年次に就活講座や個別面接を実施し、1年次から進路支援を計画的に行いました。課題学習時間は、技術練習や実習準備の時間として教員が支援。健康診断やカウンセリングも定期的に行っています。

保護者には成績や実習状況を年2回郵送し、教科外活動に関しても案内を出すことで来校機会と教員との交流を促進しました。同窓会支援やホームカミングデーの企画も進め、卒業生とのつながりを大切にしています。また、中学・高校との連携を強化し、学校案内やインターンシップ受け入れを通じて進学支援にも取り組んでいます。

#### VI. 教育環境 ( 3.5 )

本校では、遠隔授業システム(Zoom)を活用し、情報科学・災害看護・国際看護・多職種連携などの科目でオンライン授業を実施しています。シミュレーターを用いたシミュレーション教育も取り入れ、生体シミュレーター「フィジコ」や母性・小児看護用教材を導入し、学内実習の質向上に役立てています。実習指導者への支援として指導者会議を開催し、連携体制を強化。防災訓練は毎年11月に保育園2園と合同で実施しています。

#### VII. 学生募集 ( 3.8 )

令和7年度は、進学説明会への参加やインターンシップの実施、オープンキャンパスの回数増加など、学生募集活動を積極的に展開しました。オープンキャンパスでは、Instagramによる事前告知や当日の様子の発信、参加者への御礼メール配信、アンケート結果の教員共有を通じて企画の質向上を図りました。学校案内は学生・保護者の志向に合わせて

て内容を改定し、体験授業も高校生に関心に応じて工夫。中学・高校への訪問や説明会参加も拡大し、広報活動を強化しました。入学者数の減少を受け、募集活動の計画的な見直しと予算調整も進めています。

## **VIII. 財政 （ 2.6 ）**

本校では、教育に関する財務の透明化を図り、備品の点検・修理を計画的に行うことで、学生に不利益が生じない環境整備に努めています。令和7年度は、教員による備品点検を実施し、早期対応を徹底しました。また、市の予算を意識した健全な財政運営を推進し、教務会を通じて教員一人ひとりの意識向上を図りました。学生にも節電等への協力を得るなど、全校的に財政意識の共有を進めています。

## **IX. 法令等の遵守 （ 3.6 ）**

令和7年度は、教員全員がハラスメント研修を受講し、学生向けに防止ガイドラインと対応フローチャートを配布説明するなど、安心できる学習環境の整備に努めました。法令遵守の項目には、コンプライアンス重視の学校運営と外部評価の視点を新たに追加しました。自己点検・自己評価は本年度より結果をHPで公開、学校評価委員会は2月に開催し、校長・医療関係者・学識経験者・行政機関等による多角的な評価体制を整えています。

## **X. 社会貢献・地域貢献 （ 3.7 ）**

令和7年度は、地域イベントや講義の一環として学生が多数のボランティア活動に参加し、地域とのつながりを深めました。ボランティア担当教員を配置して社会福祉協議会と連携した支援体制を整備。活動状況はInstagramでも発信しています。教職員も高校インターンシップ受け入れや進学ガイダンスでの模擬授業を通じて地域貢献を実践し、出前講座の依頼にも継続的に対応しています。